

一般社団法人 機密情報抹消事業者協会

2022 年度第 1 回理事会議事録

日 時: 2022 年 5 月 16 日(月) 13:00~14:00
方 法: ZOOM (Web 会議)
理事総数 5 名、定足数 3 名
出席者: 理事: 4 名
(理事出席) 大久保薫、石川喜一郎、加藤達也、菊地正広
監事: 1 名
(出席監事) 市川諭
※理事長大久保薫、副理事長石川喜一郎、理事加藤達也、理事菊地正広、監事市川諭はオンライン会議システムにより出席
議題事項: 1 オンライン特別セミナーについて
2 定時社員総会資料 (案) について
配布資料 2022 年度定時社員総会資料 (案)

理事総数 5 名のうち 4 名の理事が出席した。事務局が、定款第 34 条に定める定足数を満たしており、本日の理事会は成立することを報告した。

2022 年度定時社員総会を 6 月 22 日にオンライン開催することとし、準備を進めることとした。事務局が、オンライン特別セミナー及び定時社員総会資料 (案) の説明を行った。総会及びオンライン特別セミナーの配信会社として「りえぞん企画株式会社」を選定したことを報告した。

1 オンライン特別セミナーについて

SDGs は、企業が事業活動を行うにあたって避けて通ることができない、社会的潮流の一つです。今年度のオンライン特別セミナーでは、SDGs に詳しい研究者を講師として招聘し、セミナーを開催することとした。招聘講師及びテーマはつぎのとおり。

講師	事業構想大学院大学 准教授 重藤 さわ子
テーマ	企業経営から見た SDGs の位置づけ
時間	15:00~16:00

2 定時社員総会資料 (案) について

① 2021 年度収支決算

2021 年度の収支決算については、5 月 12 日に監事による監査を終了した。2021 年度は、約 158 万円の黒字で、今年度繰越金は約 35 万円 (黒字繰越) となった。

② 2022 年度事業計画 (案) について

機密抹消セミナー、意見交換会、会員研修又は懇談会などを開催する予定であるが、オンライン形式又は会場での対面式については、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら判断することとしたい。改正電子帳簿保存法 (改正電帳法) 施行の影響は大きく、保存文書のデジタル化の促進につながると推測される。その準備をしていく必要がある。

【主な意見又はコメント】

- ・中長期的には、紙の機密文書の発生量が減少することは避けることができない。現状は、むしろ受入量が増加している。これは他業者に搬入される予定の機密文書が同社に回ってきていることが要因と推測している。協会の認定を取得し、それをうまく営業材料に利用することが重要と考えている。会員の意見を吸い上げる意見交換会は意義があるが、後ろ向きの意見だけでは意味がない。
- ・現状で紙の機密文書が減少しているわけではないが、将来的には電子データの抹消事業も必要と考えている。意見交換会を通じて会員の意見を集約し、協会としての方針を明確にすることが重要である。

- ・改正電帳法の運用等については、統一的な見解が得られていない。ベンダー（機器メーカー）や税理士の見解に相違があり、どちらが正確なのかわからないのが現状である。立場の違う複数の講師を招聘したセミナーを開催するのも面白い企画である。将来的には、デジタル化されることは間違いないので、今のうちから情報を収集しておくことが重要である。
- ・意見交換会や会員研修は、オンラインでは限界がある。オンラインの利点と対面式の利点を考慮して、協会の事業（意見交換会や会員研修）を行う必要がある。

③ 2022年度収支予算（案）について

2022年度の収支予算（案）については、事業計画（案）の確定後に、修正することとする。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、議長は本議事録を作成し、議長及び出席理事の全員が記名押印する。

代表理事	大久保 薫	
理事	石川 喜一郎	
理事	加藤 達也	
理事	菊地 正広	
監事	市川 諭	